

2 論文発表の実績

EBMジャーナル Vol. 7 No.4 19-24 2006	これだけは知っておきたい 一般医における 排尿障害のEBM過活動膀胱の診断	小原健司	泌尿器科
日本医学館 p. 64-71, 2006	リツキシマブを用いたABO血液型不適合腎移 植ABO血液型不適合腎移植の新戦略	中川由紀 他	泌尿器科
Americall Jou rnal of ophtha lmology 142 : 591 - 596 , 2 0 06	Assess mment of aXonal degeneration al o ng the human visual pathway using diffu sion trace analysis	UekiS , F ujiiy , Mat suz awaH 他	眼科
Documenta op htha lmologic a 113 : 17 1 - 177 , 2006	Negative scotopic ERG and photopic ON response impairment in a patient wi th normal dark adaptation	Tanimot o N , Us uiT 他	眼科
新潟医学会雑 誌 (平成18年 8月)	超高磁場拡散強調磁気共鳴画像法による視 神経軸索機能の定量的評価	植木智志	眼科
頭頸部癌31巻 364-367	頸部リンパ節転移に対し頸部郭清を行い 原発巣は照射で加療した中咽頭・下咽頭 ・喉頭癌症例の検討.	佐藤克郎 高橋 姿 他	耳鼻咽喉科
頭頸部癌31巻 373-377	当科で経験した3重癌以上の多重癌症例 の検討	佐藤克郎 高橋 姿 他	耳鼻咽喉科
AIDS 平成18年4月	Complete vemoval of HIV-IRNA and prov il DNA feom semen by the swim-vp meth od: assisted repvoduction technique u sing spevmatoza fvee from HIV-1	高桑好一 他	産科婦人科
ペインクリニ ック 27(5):56 9-77, 2006 (5月)	神経因性疼痛に対するオピオイドとカンナ ビノイドの鎮痛作用の違い - 末梢神経損傷 モデルラットを用いた解析	河野達郎	麻酔科
新潟医学会雑 誌 (平成18年5 月)	サル脳虚血モデルにおけるフリーラジ カルスカベンジャーLY231617の逆行性 脳静脈還流の効果	伊藤 靖	脳神経 外科
脳神経外科 (平成18年6 月)	片側顔面痙攣に対する神経減圧術中の顔 面異常筋電図モニタリング所見と長期予 後	福多真史	脳神経 外科
J Neurosurg (1 Supple Ped iatrics) (平 成18年7月)	Preoperative simulation of epileptifo rm discharges: synthetic aperture mag netometry virtual sensor analysis of interictal magnetoencephalography dat a	大石 誠	脳神経 外科

2 論文発表の実績

Neurology平成18年,10月)	Crossed aphasia elicited by direct cortical stimulation	大石 誠	脳神経外科
日本臨牀 (平成18年11月)	脳動静脈奇形に対するガンマナイフ治療の検討	西野和彦	脳神経外科
Neurol Res (平成18年12月)	Ictal SPECT in supplementary motor area seizures	福多真史	脳神経外科
機能的脳神経外科 (平成18年12月)	両側淡蒼球刺激療法後の局所脳血流分布の変化	福多真史	脳神経外科
Neuroradiology (平成19年1月)	Modified buddy wire technique for coil embolization of posterior circulation aneurysms	西野和彦	脳神経外科
Clinical Neuroscience (平成19年2月)	fMRIと脳血管障害	藤井幸彦	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo) (平成19年2月)	Unusual Giant Cerebral Venous Varix Associated With brain abscess: Variant of Hereditary Hemorrhagic Telangiectas -Case Report-	大石 誠	脳神経外科
No Shinkei Geka (平成19年3月)	脳神経外科領域における新規画像診断法 -解剖・機能画像の進歩-	大石 誠	脳神経外科
接着歯学24(3), 179-184 (平成18年12月)	歯科用CAD/CAM CEREC3により製作されたラミネートベニア修復物の適合性	浅井哲也 他	歯の診療室
日本口腔インプラント学会雑誌 (平成19年3月)	新潟大学医歯学総合病院における高度先進医療としてのインプラント義歯	田口裕哉 他	インプラント治療部 摂食機能再建学分野
日本補綴歯科学会雑誌 (平成18年 4月)	煎餅の咀嚼回数を指標とした咀嚼能力評価法による義歯装着効果の評価	本間 済 他	摂食機能再建学分野 義歯(入れ歯)診療室
Journal of Periodontology (平成18年4月)	Fabrication of cultured oral gingiva by tissue engineering techniques with out materials of animal origin	Okuda K Yoshie H	歯周病診療室
Journal of Periodontology (平成18年10月)	A hepatocyte growth factor (HGF)/receptor auto crine loop regulates constitutive self-renewal of human periodontal ligament cells but reduce	Kawase T Okuda K Yoshie H	歯周病診療室
Ped Dent J, 17 (1): 100-105 (平成 19年 3月)	A case of eruption guidance for eruption disturbances of the bilateral second molars caused by supernumerary teeth	Iizawa Futabako	小児歯科診療室

計14  
合計118

(様式第13)

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 畠山勝義
閲覧担当者氏名	総務課長 中嶋恒夫
閲覧の求めに応じる場所	管理棟大会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧実績

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	国	0件
	地方公共団体	0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	73.5%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		12,309人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者数		7,851人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		2,265人
	D：初診の患者数		22,670人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

## 規則第 9 条の 2 3 条及び第 1 1 条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 2 名 ) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 1 名 ) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員：専任 ( 1 ) 名 兼任 ( 2 6 ) 名</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 医療事故及びインシデント情報の収集、分析及び提供</li> <li>ロ 医療の安全管理に係る教育及び研修の実施</li> <li>ハ 医療事故防止委員会の運営</li> </ul> </li> </ul>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 組織として事故防止に取り組む <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医療事故防止委員会：病院長を中心とした、事故防止・医療の安全性の向上に関する各種重要事項を審議決定する機関</li> <li>② 医療安全管理部：医療事故防止委員会の事務局機能を担うとともに、事故防止に関する具体的業務に当たる。</li> <li>③ 全部署にリスクマネジャーを配置 (病棟、中央診療部門、薬剤部、事務部等)：各部署のリスクマネジメントの責任者として、当該部署における事故防止・安全管理の中心的役割を担う。</li> </ol> </li> <li>(2) 情報の共有化を図り、事故防止に役立てる 発生したヒヤリハット等は、インシデントレポートで情報を収集する。収集された情報を分析し、事故防止対策の企画・実施に繋げ、フィードバックさせる。</li> <li>(3) 事故防止のための教育システムの整備 全職員が安全管理システムを周知し、基本的ルールを修得できることと個々の担当・責任分野における改善システムを図ることを目的として計画的な教育・研修を実施する。</li> <li>(4) 事故発生時の対応 倫理性の確保、患者の尊重に努め、病院全体で組織としての判断で対応する。</li> <li>(5) 安全管理に関する指針の閲覧 患者等が当該指針の閲覧を希望する場合は、閲覧に供する。</li> </ol> </li> </ul>	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 2 2 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>医療事故防止委員会及び医療事故対策委員会</li> <li>(1) 医療事故の防止対策に関すること。</li> <li>(2) 医療事故の防止に係る教育及び研修に関すること。</li> <li>(3) 医療事故の防止マニュアルに関すること。</li> <li>(4) 医療事故としての取扱いの判定に関すること。</li> </ul> </li> </ul>	

(様式第 13-2)

- (5) 医療事故発生時の対応等に関すること。
- (6) 発生した医療事故の原因究明等に関すること。

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 14回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 医員・研修医を対象とした研修会</li><li>(2) 看護師を対象とした研修会</li><li>(3) 医師，歯科医師，看護師を対象とした研修会</li><li>(4) 全職員を対象とした研修会</li><li>(5) 全職員を対象とした講演会</li></ul></li></ul>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ) ・ 無 )</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 各部署のリスクマネージャー等による事故防止のための相互チェックの実施</li><li>(2) 医療安全管理部の部長，副部長及び専任リスクマネージャー等（9名）による毎週1回の検討会の実施</li><li>(3) 各部署のリスクマネージャー出席によるスクマネージャー全体会議を隔月開催</li><li>(4) 研修医に対する指導体制の整備</li></ul></li></ul>	